

感染拡大を受けて安定供給・品質向上への意識を共有

日衛連

が視聴した。

一般社団法人日本衛生材料工業連合会(略称日衛連)は、コロナ感染拡大を受けて1月17日に予定していた2022年賀詞交歓会を中止し、日衛連表彰式の式典の様子と澤田道隆会長の挨拶をWeb配信した。会員企業限定でWeb配信され約150社が視聴した。

澤田会長は挨拶で、人も年時からオミクロン株の感染拡大となり、衛生材料業界の重要な使命・役割を果たすことほもと、コロナ禍の状況にあってはビジネスを維持、発展させるモデルを構築し、成果を出すことが求められると思う」と語った。



澤田会長

日衛連は21年度、コロナ禍の感染対策として引き続き衛生材料、衛生用品の安定供給を推進した。21年4〜9月までの期間で、供給量はマスクで160〜180億枚程度

が前年同期比53%増の約72億枚、除菌ウェットティッシュ(消費含む)が10%減の約2万個だった。22年度も感染対策衛生用品の安定供給「環境政策の推進」「ISOの推進とJISの活用」改正医薬品医療機器等法への対応「など7項目を挙げていく。

国内マスク出荷量は170億枚前後、JIS適合審査マスクは700商品に

マスクの国内出荷数量は、会員企業のみで20年度が130億枚を超えた。21年度は同規模以上となる見通し。非会員企業のJIS適合審査を開始している。

日衛連に属するマスクの出荷量になると推測している。マスクについては21年7月より、一般用と医療用との見通し。非会員企業のJIS適合審査を開始している。

工業会は同6月、マスクの日本産業規格(JIS)として「医療用マスク(クラスI、II、III)、一般用マスクの性能と試験法(JIS T9001)」「感染対策医療用マスクの性能と試験法(JIS T9002)」を制定した。

7月からスタートしたJIS T9001の適合審査は、21年12月末現在、JIS T9001の適合審査をクリアした商品数は約700品(一般用400、医療用300)にのぼる。

また、21年度は業界全体で環境への取り組みとして消費者への啓発活動を推進した。使用後の商

品の適切な廃棄を促す活動として環境対策(廃棄)マークを制定し、日衛連会員各社が販売する商品パッケージへの表示を順次開始している。消費者への啓発を目的に開設したWebサイトは、アクセス数が3カ月で計1万を超えたという。

FPTソフトウェアと業務提携

ベトナム国内の購買ビッグデータ活用を日越両国で推進

True Data

True Dataは、FPTコーポレーションの中核企業でベトナム最大級のICT企業であるFPTソフトウェアと戦略的な業務提携契約を結ぶとともに、FPTソフトウェアグループでコンシューマーファイナンス向け事業を手掛けるRANDATA TECHNOLOGY ENGINEERING JOINT STOCK COMPANYが実施する第三者割当増資を引き受け、資本業務提携することを発表した。

ベトナム国内有数のビッグデータホルダーであるRANDATAは、国内の小売業と連携し、購買データのプラットフォームを展開するTrue Dataと共同で、ベトナムの消費行動に関する分析・データマーケティングへの利活用を推進する。

今回の資本業務提携により、両社はFPTソフトウェアのAIとITノウハウを活用し、ベトナム国内の小売業の購買ビッグデータプラットフォーム



True Dataの米倉裕之社長は、「アジアの成長市場であるベトナム市場と、世界有数の規模ながら成熟していく日本市場をデータで結び付けることで、購買ビッグデータ活用と価値の拡大に貢献していく」とコメントしている。

私のH&B

日記

元号が平成から令和に変わったのもつい昨日のことのように思えるが、既に平成はレトロ的な存在になりつつあるようで、現在、Z世代を中心に平成初期に流行したアイテムが人気を集めているという。ルーズソックスも再流行している。今は好きで、小学校時代は何個も保有していた。

平成レトロ

ただ、たまごっちは学校に持っていくことができないため、家を出る前に時を止める操作を行う必要があるが、ついうっかりそれを忘れてしまった時には授業中も気が気ではな

た。たまごっちは学校に持っていくことができないため、家を出る前に時を止める操作を行う必要があるが、ついうっかりそれを忘れてしまった時には授業中も気が気ではな